

## スポーツ・システム研究科スポーツ・システム専攻

### 【教員養成の目標】

スポーツ・システム研究科では、スポーツ教育・人文・科学に関する専門的知識を有した保健体育科教員の養成を目指す。学校教育の中で、子どもたちに体育スポーツに関する新たな知識・知見に対する積極的興味をかりたて、さらにはその興味関心に沿った探索活動を自ら進める社会・人文・科学的方法について指導できる教員の養成に重点をおくことを目的としている。

1. スポーツ教育・人文・科学に関する専門的知識を有した教員
2. スポーツ教育・人文・科学に関する知見を実践に活かすことができる教員
3. スポーツ教育・人文・科学に関する研究方法を理解し、生徒に発見学習を提供できる教員

### 【当該目標を達成するための計画】

学校教育の中で、子どもに知識・知見に対する興味を促進できる授業展開と、興味関心に沿った知識・知見に関する探索活動を自ら進める方法について指導できる教員の養成に重点をおくことを目的として、本研究科ではスポーツ教育・人文・科学全般に関する研究手法を全て網羅する授業を設定している。

大学院生自身の修士論文のテーマはとわず、社会・人文研究の基礎知識と手法の理解を目指し「スポーツ教育システム特論」を設定し、スポーツ科学研究の基礎知識と手法の理解を目指し「スポーツ科学システム特論」を設定している。

また、専修免許に対応した基礎授業として「スポーツ分野教職特論」を設定している。これらの授業科目はすべて共通カリキュラムとして設定されており「スポーツ教育システム特論」と「スポーツ科学システム特論」については必修科目として設定されており「スポーツ分野教職特論」については専修免許の取得を目指す大学院生については履修を推奨している。

これらの特色から、スポーツ教育・人文・科学に関する専門的知識を有した保健体育科教員としてだけでなく、生徒が専門的学問を探求しようとした場合に、その基礎的能力の獲得をも指導しうる教員の養成を推進している。